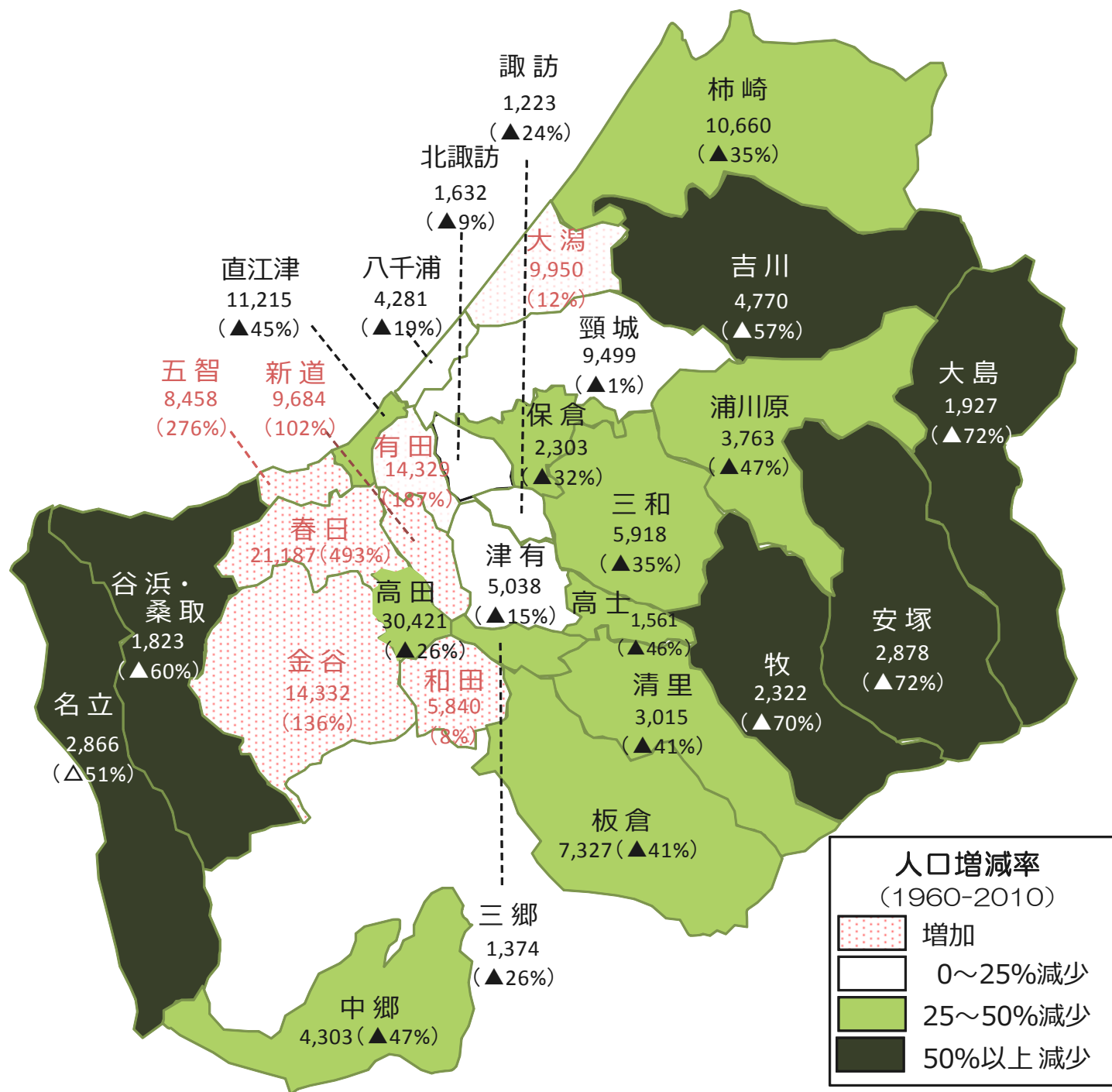


中山間地域で大幅な人口減少、春日、有田などでは増加



【トリアシショウマ】ユキノシタ科の多年草。漢字で「鳥足升麻」と書きます。名前の由来は若芽の頃の葉の形が鳥の足に似ているからだそうです。花も何となく鳥の足に似ています。

上越市でも急速な人口減少社会を迎えています。市議会では人口減少問題調査対策特別委員会を設置し、少子化・子育て対策や健康・長寿命化対策、雇用対策など人口減少対策に係る課題について調査研究し、その効果が見込まれる施策を提言することになりました。

6月24日の特別委員会では上越市創造行政研究所から上越市の現状について詳しく説明がありました。上の図はそこで配布された資料の一部です。

説明によると、1971年から約40年間で上越市の出生数は半減、現在は1年間に約1600人と

なっています。市内の中でも人口流動が進んでいて、中山間地域では1960年から50年間に7割も減少したところがあります。その一方で、春日地区では5倍近くも増え、有田地区、金谷地区などでも増加しています。また、人口減の大きいところほど高齢化が進んでいるとのことです。

特別委員会では、今後、現状分析をしっかりとった上で、中長期的な対策課題を明確にし、先進地視察などを進めながら、市長に上越市でとるべき対策を提言していきたいと意気込んでいます。

はしづめ法一の活動レポート

No.1664 2014.7.6
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628 吉川有線 4867
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL http://www.hose1.jp/

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

橋爪法一 検索

水車と川があり、そばにはアジサイの花が咲いている、薄く線が引かれためり絵用紙に色鉛筆を走らせている女性がいます。四年前に脳内出血で倒れ、右半身が不自由になった柿崎区在住のNさんです。

Nさんは吉川区河沢出身です。キョウダイはみんな芸達者で、今年亡くなったお兄さんは、安来節のどじょうすくいが得意でした。Nさんも倒れる前は流行歌は歌う、人形は作る、錦絵も描く、なんでも極めてしまう女性でした。

私がNさんの描いた錦絵と出合ったのは数ヶ月前、安塚区のラーメン屋さんでした。窓際に飾ってあった絵は、髪の毛の一本一本が見えるような繊細な筆致で描かれていて、最初はどこかのプロが描いたものだろうと思っただけくらい見事なものでした。お店のお客さんとの会話でNさんの作品だということを知りびっくりしました。

その後、Nさんの錦絵のことは頭から離れていたのですが、先週の日曜日、時どきお邪魔する浦川原区のFさん宅でお茶をご馳走になった際、錦絵のことが話題になったのです。Nさんとは仲良く付き合いをされていて、安塚区のラーメン屋さんにある錦絵をお連れ合いとともに観に行つたことでした。世間は狭いと思いましたね。

Nさんが倒れたのは夜八時半過ぎでした。大きなミカンを食べるときに突然しびれがきて、立てなくなりました。救急車を呼んでもらい、すぐに病院へ行つたのですが、四〇分ほどの間に頭の中の血袋が五センチくらいになつたといひます。脳内出血を起こした場所は神経が集中しているため手術ができず、血を散らすのが精一杯だったそうです。Nさんは、「毎日、栗のイガに触っているようだった」と回想します。

先日、Nさん宅を訪れてきました。居間に入らせてもらつて、「いやー、びっくりしと、おまんたとFさんが友達だったなんて」と言うと、Nさんは、「アハハ」と明るく笑いました。

居間には病気になる前に描いたという錦絵が三枚、額に入れてあつたので、デジカメ写真に撮らせてもらいました。撮るたびにNさんから一枚ずつカメラに映つた画像を確認してもらつと、「アハハ」と笑つた後、「まあ、すごい、きれい」と言いました。Nさんには笑顔が似合います。

お連れ合いから「あれも観てくんない」と言われて、土間の一角にある絵を覗きました。こちらは何と折り紙を貼つた絵で、柿崎の海を基にした空想画でした。海に外国船が浮かび、松並木もありました。お連れ合いが折り、貼るのはNさんで、ご夫婦の共同作品でした。そして最後にテーブルの上に出されたのがめり絵だったのです。

めり絵の紙の左上には「脳リハ」と書かれています。脳の病気を患つた人がリハビリのために使う用紙であることが一目でわかりました。「まだ輪郭描かんねすけね」とお連れ合いが言われましたが、大きな水車、山と川、アジサイなどはしっかりと色がぬられていました。それだけでなく、自分でイメージをふくらませ、下絵にない田んぼや空を飛ば鳥まで描き込まれていました。Nさんの錦絵への再挑戦が始まつたのです。

NさんとFさんは二年ほど前、浦川原区にある老健施設、「保倉の里」のデイサービスで出会つたといひます。二人ともおしゃべりが大好きで、時どき電話を掛け合つたりしながら励まし合つています。この分だと、そう遠くない時期にNさんが左手で素敵な錦絵を描きあげ、この二人が笑い合う姿を見ることができるといひます。

議会報告会を行います 皆さんのご意見を聴かせて ください

主催：日本共産党議員団
日時：11日（金）19時から20時半
場所：市民プラザ

高齢者軽視の政治に怒りの声次々

6月28日、頸城区の二ヶ字公民館で行われた集いに参加してきました。これは上野公悦市議の呼びかけで行われたものです。参加者は少なかつたものの、貴重な声をたくさん寄せていただきました。

日本共産党の志位委員長の演説ダイジェスト版を視聴した後、私から県政、市政のことで最近感じていることをお話ししました。

参加者からは、「最近の政治では年寄り早く死ねというのが見え見えだ」「日本を取り戻す、というポスターは失いつつある大事なものを取り戻すというイメージで好感を持って見て来たが、安倍内閣が実際にやっていることはとんでもないことだ」「上越市の肺炎球菌ワクチン接種補助対象は75歳以上だが、他市ではもっと低いところ



がある。対象年齢を引き下げてもらいたい」「一人暮らし、この先どうなるか不安だ」などの声次々と寄せられました。いい集いでした。

日本共産党議員団ではこうした集いを今後も各地で開催します。市内には800を超える町内会がありますので、すべてを回ることはできませんが、開催要望があるところは、なるべく早く行きたいと思つていますので、お知らせください。

上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だということです。

	6月25日(水)	7月2日(水)
上越南消防署	0.030	0.036
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.046	0.047
頸北消防署	0.050	0.040
頸南消防署	0.040	0.053
東頸消防署	0.053	0.060
高士分遣所	0.056	0.047
名立分遣所	0.050	0.053